



みんながやく！（江東区教育委員会テーマ）

プリズム（個の輝き・協同の輝き） 第13号

～幸せな学校の創造～

江東区立南砂中学校だより



文化祭の秋 アンケートから

※多数掲載するため、一部を省略しています。

《2年生保護者》

○とても感動しました。決して上手くはないところも多々ありましたが、生徒と先生方の味のある雰囲気に取り込まれました。人数は少ないはずなのに、少ないと思わせない素敵な学校だと思いました。南砂中を選択して良かったと心から思いました。

○どの学年も、1年間での成長の大きさが凄まじく、とても感動した文化祭でした。学年が上がるごとに個が輝き、南砂中に入学して良かったと実感します。

○去年では考えられなかった我が子の姿に涙が出ました。1年あれば、こんなにも大きく成長するものなのですね…。来年はいよいよ3年生！とても楽しみです。

○3年生の舞台劇はとても印象に残りました。太鼓の演奏、先生の合唱、そして生徒たちとのやり取り、どれも素晴らしかったです。これだけ多くの方が力を合わせて一つのことを成し遂げる姿を見ると、本当に感動します。生徒たちの真剣な準備と練習に感謝します。

○南中らしく、アットホームな雰囲気で楽しかったです。プログラムが高校の文化祭のようで、これからの進路を意識しているのかなと思いました。先生方の合唱も素敵でした。南中生がまとまった感じがして、スローガンが当てはまっていると思いました。

○今年も職員合唱、生徒の皆さんも一緒に盛り上がっていましたね！行事に参加するたび、南中の温かさを感じます。息子も南砂中学校の一人の生徒として役割を果たしていること、とても有難く思います。

○生徒や先生たちが楽しそうに発表や演奏をしているのが、南砂中学校の文化祭らしい感じます。今回も皆が一体となって作り上げた、素晴らしい文化祭でした。

○2年生はどの班もスライドが分かりやすかったです。リコーダーの合奏は音色がとても綺麗

で、合唱も声がよく出ていました。3年生の劇は笑いあり、ダンスありで見えて楽しかったです。南砂中で過ごした3年間は、どれも素敵な思い出になっていることが伝わってきました。先生と生徒の距離が近く、微笑ましさを感じました。最後の全校合唱は心に響く合唱でした。全校生徒が心をひとつに歌っている姿に感動しました。

《3年生保護者》

○中学校生活最後の文化祭をとても楽しそうで安心しました。南砂中の文化祭はアットホームで非常に雰囲気が良いなど毎年感じています。息子は今年で卒業してしましますが、来年以降もこの良い雰囲気が続く事を願っています。

○南砂中学校の団結力を見て、感動しました。小規模校ならではの全員参加型をこのまま続けてほしいです。

○体育館内は暑かった。遠方から通う生徒もあり、事前申請で自転車での来校を認めてほしい。近隣に駐車場はなく、バスも本数が無いため来校しにくい。タイムスケジュールを各演目ごとに決めてほしい。早まったので終わりましたでは困る。

○どの学年も、どの生徒も、みんな一生懸命に取り組んでいて見ていて感心するし、飽きなかったです。3年生の劇の終わりでは感涙されてる方もいらっやいました。南中らしい素敵な文化祭でした。先生方の指導のおかげだと思います。

《地域の方》

○小5の息子は和太鼓部の演奏が気に入っていました。校門前であいさつをしている先生方の感じがよかった。



連合音楽会

江東区連合音楽会が10月29日(水)にティアラ江東で行なわれました。本校からは和太鼓部が出場しました。普段の練習の成果を発揮し、力強い演奏をホールいっぱいに響かせることができました。和太鼓での発表は、中学校で本校のみです。南砂中学校の特色・伝統として、これからもすばらしいパフォーマンスをい披露してくれることでしょう。



連合英語発表会

江東区英語学会が10月30日(木)江東区文化センターで行なわれました。今年度、本校からは3学年有志3名が参加しました。「文房具中毒」というテーマで「その他」部門に出場し、上位3校に贈られる奨励賞に加え、審査員の8割以上の得票を得て、審査員特別賞も受賞しました。



道徳地区公開講座

10月31日(金)道徳地区公開講座として「本当の優しさとは何か」の全校道徳の授業を実施しました。授業は、1～3年生徒・保護者・地域からの参加者が縦割り班で参加し、多様な意見を尊重し多面的な考え方を学ぶのがねらいです。

授業では、3つの具体的な事例(ロッカー整理、悪口を教える、トイレの列を譲る)について、個々人が「優しいか優しくないか」を判断し、その基準を考えました。その後、班で意見を共有し、質問を通して議論を深めながら、「本当の優しさ」とは何か、自分なりの答えを導き出しました。今回、保護者・地域から10名の参加者がグループに加わり、その後の協議会でも充実した意見交換を行うことができました。キャリア教育に関する出前授業のご提案もいただきました。(是非ともよろしく願います)ご参加いただきありがとうございました。



静かな熱戦、デフリンピック開幕によせて

今週末から、デフリンピック(Deaflympics)が始まります。この国際的なスポーツの祭典は、聴覚に障がいのあるアスリートたちが、日頃の厳しいトレーニングの成果を競い合う「静かな熱戦」の場です。

デフリンピックの始まりは、1924年にフランスのパリで開催された「国際サイレント大会」です。パラリンピック(1948年イギリスの病院で行われたリハビリを目的とした大会が起源)よりも24年も早く始まったそうです。スタート時のランプや旗の使用、審判と選手間のコミュニケーション方法など、独自の工夫がされていますが、競技ルール自体はオリンピックとほぼ同じです。

私自身は、以前「難聴学級(通級)」のある学校に勤務していた際に、デフリンピックの存在を知りました。デフサッカー日本代表の監督の講演を拝聴したり、デフ卓球選手の講話・実践、生徒との対戦の中で、言葉によらないコミュニケーションの力や、スポーツのもつ力を肌で感じました。また、聴覚障がいのある方々が演じる手話狂言を鑑賞し、表現の奥深さに感動したこともあります。今回のデフリンピックが一過性の花火に終わることなく、すべてのマイノリティの方々への理解を「人権」の観点からももち続けてほしいと願っています。



サインエール

薬物乱用防止標語 優秀賞
未来通信 薬物そろそろ
一学年 生徒 オワコンです

深川芭蕉小中学生俳句大会 佳作
暑き夜 子どもビールを一気飲み
二年 山中 颯太

生徒の活躍

連合英語発表会

○奨励賞・審査員特別賞(ダブル受賞)
3年 I、N、M

東京都冬季大会江東区代表選考会

○女子シングルス3位 2年 K

敬称略